

平成 29 年度第 1 回市民交流会を、6 月 10 日(土)に開催しました。

小金井市から 4 名、国立市から 2 名、狛江市から 3 名が参加し、「男女共同参画と子育て」をテーマに講義、グループ討議及び発表を行いました。

第 2 回市民交流会は、9 月 30 日(土)午後 2 時 30 分～国立市役所にて開催します。



◇講義（小金井子育て・子育てネットワーク協議会 佐藤宮子氏、水谷多加子氏）

- ・小金井子育て・子育てネットワーク協議会の活動について紹介
- ・「パパのママ化」「おやじがいなくなった」「子育てに大事なななめの関係」といった現代の子育てに関する話題について紹介

◇グループディスカッション

- ・4 グループに分かれて「イマドキの子育て」をテーマとしたグループディスカッション及び意見発表

〔イマドキの子育てに関する参加者からの意見〕

○働き方・男性の育児参加

- ・現在、早く帰れる職場ではなく、残業ありきの職場もあり仕事と育児の両立が難しい
- ・父親の働き方にも問題がある
- ・男性の育児休業取得率が増えていることもあり、社会制度は少しずつ整備されている
- ・パパのママ化している側面もあり、父親の育児参加をどのようにしていくか
- ・パパが子どもを抱っこひもで連れている姿をよく見るようになった

○情報

- ・ SNS 等を活用し親同士でネットワークを作るのがうまい
- ・ イマドキの子育てにおいては、インターネット等を活用し、多様な情報を得ることができインターネット等の情報に頼りすぎている側面がある
- ・ スマホの普及により子ども達は生きづらそう
- ・ 情報の多様化が進んでいる

○家庭・環境

- ・ ワーキングママ（パパ）と専業ママ（パパ）とで対立している
- ・ 各家庭における環境の格差がある
- ・ 今の男性は子育てには協力的である
- ・ 様々な家庭環境があることを理解し、どのような家庭でも楽しく暮らせるような社会となる必要がある
- ・ 各家庭の環境は多様であり、父親や母親のサポートを受けられないことがある
- ・ 習い事が多すぎて教育費がかかる。子育ての情報をネットに振り回されているのでは

○学校・幼稚園・保育園・行政・地域

- ・ 学校の集まりが平日にあり、働いていると対応が難しい
- ・ 保育園における待機児童の問題などがある一方、幼稚園では児童不足の園もある
- ・ 個別性を重んじた行政運営が必要である
- ・ 市町村よっての温度差が大きい
- ・ おやじの会などの活動など、地域のコミュニティこそが大事である
- ・ 困難をかかえる子供へのサポートが必要である
- ・ 学級崩壊に代表されるように子供もイライラしている
- ・ 大人は子供のいじめに対応しない

平成 29 年度第 1 回市民サポーター会議を、6 月 10 日(土)に開催しました。

交流会の後、小金井市 6 名、国立市 2 名、狛江市 3 名が市民サポーターとして第 1 回会議に出席しました。それぞれ自己紹介をする中で、日頃から市の事業にかかわっている方・初めての方、起業支援や就労支援に携わる方、男性だって苦しいんだということを聞いてほしい方など、様々な方が集まりました。

◇フリートーク「すべての人がその人らしく生きられる地域にするために」

- ・ 男は働きなさいという風習がある。男らしさを求められると苦しくなる
- ・ 男女の違いは、出産・授乳できるかどうかだけ。人として相手を見たい
- ・ 海外では朝男性も当たり前子どもを学校へ連れて行く。日本もそうなればいい
- ・ 息子世代は「共働きは当たり前」と思っている。でも「専業主婦になりたい」という女性もまだいる。時代は変わっているところもあるし、変わらないところもある